

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2017年度上半期）について

1. 患者・マーケットに関する取組 ～患者サービスの向上と医療連携の推進～

項目及び中期経営改革の目標値	年度目標	2017年度(上半期)の実績	自己評価
(1) 患者満足度の向上 【2019年度】 入院患者満足度 90% 外来患者満足度 85%	88% 82%	・4月にレストランをリニューアルオープンしました。窓際にカウンター席を配置し、景色を見ながらお一人でも利用しやすいレイアウトに変更しました。また、臨時コンビニエンスストアを9階にオープンしました。 ・5月にカフェを1階にオープンしました。 ・患者からの要望に応じて、病棟の消灯時間を5月から延長し、21時から21時半に変更しました。 ・6月に院内Wi-Fiを整備し、談話室等でご利用いただけるようになりました。 ・患者満足度調査を9月に実施し、現在集計中です。	○
(2) 情報提供の充実 【2021年度】 病院ホームページアクセス件数 12万件/月 【2019年度】 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 60件	10万件/月 40件	・診療科紹介ページのリニューアルに着手し、8月に外科のページのリニューアルを行いました。下半期にはすべての診療科についてリニューアルを行います。ホームページアクセス件数は10.8万件/月でした。 ・患者用クリニカルパスの見直しを看護部を中心に進めており、40件以上の見直しを行いました。 ・年4回発行している広報紙「町田市民病院クォーターリー」のページ数を、4ページから8ページに変更しました。町田市民病院の診療科や取り組みなどについて、よりわかりやすく発信できるようになりました。	◎
(3) 医療連携の推進 【2019年度】 紹介率 65% 逆紹介率 45% 【2020年度】 地域医療支援病院 承認	65% 48% 準備	・二次救急医療機関としての役割を明確化し、地域医療機関との関係を強化するため、地域医療支援病院の承認を2018年度に早めて目指すこととしました。承認に向けて院内プロジェクトを発足し、地域医療支援病院の承認に必要な連携医制度の制度設計や、医師会・歯科医師会とさらなる連携を行うための交流会等について検討を行いました。 ・地域医療支援病院の承認に向けた取り組みの一環として、紹介状を持たない患者へかかりつけ医を持つよう啓発を行うなど、紹介率を上げる取り組みを行った結果、2017年9月末までの紹介率は65.0%、逆紹介率は48.2%となりました。	◎
(4) 高齢患者に安心な退院支援の充実 【2019年度】 退院支援件数 1,400件/年	3,500件/年	・これまでの医療相談の体制に加え、4月から看護師4名と社会福祉士1名の5名からなる退院支援調整職員を配置しました。急性期の治療が終了したのち、安心して住み慣れた地域で療養生活を送れるよう、入院早期より退院に向けた支援を行っています。施設基準を満たしたことにより、6月から退院支援加算Ⅰを算定できるようになりました。退院支援件数は、858件(143件/月)となり、2016年度実績(74件/月)に比べ93.2%増加しました。	○
(5) 小児医療・周産期医療の確保 【2018年度】 小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 75件/年	22人/日 100件/年	・小児入院患者数は20.7人/日(新生児内科含む)となりました。市内で唯一の小児科入院施設として、小児科医9名体制で、一般診療のほか循環器外来やアレルギー外来などの専門診療を行っています。 ・母体搬送受入件数は55件(9.2件/月)となりました。南多摩医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、今後も積極的な受け入れを行ってまいります。	○

<自己評価凡例>

◎:計画よりも目標を上回る見込み ○:概ね目標を達成できる見込み △:計画よりも目標を下回る見込み
 ×:計画よりも目標を大きく下回る見込み -:下半期に実施するもの(成果がわかるもの)

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2017年度上半期）について

2. 収支改善に関する取組 ～収益の向上と費用の削減を図ります～

項目及び中期経営改革の目標値	年度目標	2017年度(上半期)の実績	自己評価
(1) 病床の安定的稼働 <div style="text-align: right;"> 【2021年度】 病床利用率 85% 新入院患者数 1,000人/月 </div>	83% 920人/月	・病床利用率は78.2%となりました。2016年度実績(81.0%)よりも減少していますが、呼吸器内科医の不在と平均在院日数が短くなっていることが主な要因です。病床利用率の低い病床の活用を検討し、課題解決を図る必要があります。 ・救急からの入院患者数が増加していることもあり、新入院患者数は5,479人(913人/月)と2016年度実績(909人/月)を上回っています。診療科別にみると、整形外科と循環器内科で患者数が増加しています。	×
(2) 診療単価の上昇 <div style="text-align: right;"> 【2020年度】 入院単価 58,000円 外来単価 14,500円 </div>	57,500円 12,500円	・診療体制が整わなかった科もあり、入院単価は57,271円と2016年度実績(57,356円)を下回っています。 ・外来単価は11,649円となり、2016年度実績(11,784円)よりも減少しています。外来単価を増加させるため、専門的な検査を必要とする患者を紹介いただけるよう、地域の医療機関との連携・機能分化を進めています。	△
(3) 材料費の削減 <div style="text-align: right;"> 【2017年度】 ジェネリック医薬品使用量比率(DPC) 80% 【2020年度】 材料費削減額 500万円/年 (単価差積算ベース) </div>	90%超 500万円/年	・内服薬のほか、外用剤、注射剤の変更も行うとともに、2017年度は特許切れ薬剤等の大型シェア薬剤の切り替えを重点的に行っています。これにより、ジェネリック薬品使用量比率は91.6%となり、目標を上回っています。 ・共同購入・商品切替・価格交渉により、材料費を約315万円削減しました。	◎

＜自己評価凡例＞

◎：計画よりも目標を上回る見込み ○：概ね目標を達成できる見込み △：計画よりも目標を下回る見込み
 ×：計画よりも目標を大きく下回る見込み ー：下半期に実施するもの(成果がわかるもの)

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2017年度上半期）について

3. 業務向上に関する取組 ～病院機能の向上を図ります～

項目及び中期経営改革の目標値	年度目標	2017年度(上半期)の実績	自己評価
<p>(1)救急診療体制の充実</p> <p style="text-align: right;">【2020年度】 救急車による受入患者数 460人</p>	455人/月	<p>・救急車による受入患者数は467人/月となりました。医療機関からの重症患者の受け入れを進めるため、救急の場合には紹介元医師と当院医師が電話で直接対話する仕組みに変更しました。</p>	◎
<p>(2)災害拠点病院としての機能の充実</p> <p style="text-align: right;">【2017年度】 連携訓練回数 1回/年</p>	1回/年	<p>・町田市の総合防災訓練に合わせて8月27日に防災訓練を実施しました。訓練の結果を生かし、災害対応マニュアルの改訂に着手しました。</p> <p>・7月18日に開催された南多摩医療圏の通信訓練に参加しました。</p>	○
<p>(3)急性期病院としての質の向上</p> <p style="text-align: right;">【2018年度】 手術件数 4,360件/年 (麻酔科管理件数 2,900件/年) リハビリ実施単位数 5,000単位/月</p>	4,400件/年 2,900件/年 5,400件/月	<p>・整形外科医が4月から1名増となったことにより、整形外科の手術件数が増加しており、手術件数2,307件（うち麻酔科管理件数1,514件）となり、目標を上回っています。</p> <p>・2016年度から算定を始めた「心大血管疾患リハビリテーション（I）」の外来運用を始めたことで、リハビリ実施単位数は5,255単位/月となりました。</p> <p>・2017年度に発足した、地域のリハビリテーション事業所で構成されるリハビリ連絡会に参加し、地域との連携強化を図っています。退院支援においてはケアマネジャーや訪問リハビリテーション事業所との連携を強化し、退院後のリハビリテーションを支援しています。</p>	◎
<p>(4)病院機能評価の更新</p> <p style="text-align: right;">【2017年度】 病院機能評価の更新</p>	更新	<p>・11月の受審に向けて、院内セルフ監査及び書類点検を行い、業務の改善を行いました。</p>	○
<p>(5)外来機能の効率化</p> <p style="text-align: right;">【2021年度】 外来患者数 1,000人以下/日</p> <p style="text-align: right;">【2019年度】 地域連携予約枠利用者数 400人/月 逆紹介件数 970人/月</p>	1,180人/日 330人/月 1,000件/月	<p>・急性期の治療が終了し、病状が安定した患者を積極的に逆紹介した結果、逆紹介件数は982件/月となり、目標を上回っています。また、外来患者数は1,138人/日となり、2016年度実績(1,234人/日)に比べ7.8%減となりました。</p> <p>・糖尿病・内分泌内科、腎臓内科および皮膚科で地域連携予約を開始しました。また、眼科および耳鼻咽喉科の地域連携予約枠を増加しました。この結果、地域連携予約枠利用者数は381件/月となり、2016年度実績(344件/月)と比べ10.8%の増となっています。</p>	○
<p>(6)外来化学療法センターの運営効率化</p> <p style="text-align: right;">【2018年度】 化学療法実施件数 200人/月</p>	190人/月	<p>・外来化学療法センターの効率的な病床利用を進めることで件数増を図っていますが、分子標的治療薬を使用した治療時間が長い症例が増えていることにより、上半期の化学療法実施件数は984人(164人/月)となっています。</p>	△

＜自己評価凡例＞

◎：計画よりも目標を上回る見込み ○：概ね目標を達成できる見込み △：計画よりも目標を下回る見込み
 ×：計画よりも目標を大きく下回る見込み ー：下半期に実施するもの（成果がわかるもの）

町田市民病院中期経営計画の進捗状況（2017年度上半期）について

4. 進化・成長に関する取組 ～人材の安定確保と育成を図ります～

項目及び中期経営改革の目標値	年度目標	2017年度(上半期)の実績	自己評価
(1) 質の高い病院職員の安定確保 <div style="text-align: right;">【2021年度】</div> (常勤職員数) 医師 93人 医療技術 97人 看護師等 402人 事務 42人 (うち病院専任) 14人 計 634人	— — — — 9人 —	・2017年3月末に不在となった呼吸器内科医について、複数の医局に対して派遣要請を行っていますが、いまだに採用の目途は立っていません。 ・医療技術職を3名、看護師を29名採用しました。 ・医事課に任期付き職員を1名採用し、総務課に臨床工学技士1名を配置換えしたことにより、病院専任事務職員が12名となりました。 <2017年9月時点> 医師 88人 医療技術 97人 看護師等 423人 事務 41人 (うち病院専任) 12人 計 649人 ※育休及び休職者は含まず	×
(2) 質の高い医療従事者の育成 <div style="text-align: right;">【2018年度】</div> 医療安全・感染対策講習会 延参加人数 3,600人/年	3,100人/年	・医療安全・感染対策講習会を2回実施しました。講習会当日に受講できなかった職員を対象に、ビデオ上映による受講を推し進めた結果、延べ参加人数は1,262人(医療安全431人、感染対策831人)となっています。下半期は3回の講習会を予定しています。	△
(3) 職員満足度の向上 <div style="text-align: right;">【2021年度】</div> 職員満足度 65%	62%	・10月に職員満足度調査を実施します。調査結果から得られる課題について業務改善策を策定し、改善を図っていきます。 ・職場環境改善プロジェクトを立ち上げ、ご意見箱で職員からの意見を募るなど、職員満足度向上のための取り組みを行っています。	○

<自己評価凡例>

◎: 計画よりも目標を上回る見込み ○: 概ね目標を達成できる見込み △: 計画よりも目標を下回る見込み
 ×: 計画よりも目標を大きく下回る見込み —: 下半期に実施するもの(成果がわかるもの)